

平成24年度 京都府立医科大学決算概要

平成 25 年 6 月
事務局 経 理 課

【決算概要】

- 平成24年度決算は、経常費用315億1千5百万円、経常収益315億1千9百万円であり、経常損益は、3百万円の黒字。
- 運営費交付金が年々減少している一方で、附属病院収入の増加により大学全体の収益額は増加。
- 人件費は、退職手当が1億2百万円増加するとともに、専攻医、大学院生の診療謝金、手当の増加及び病院部門の非常勤職員の増加等による非常勤職員人件費が4億4百万円増加したことにより、全体で5億2千3百万円増加。
- 教育経費は、講義室の設備整備や大学院生に係る教育経費の増加等により、4千4百万円、前年度比17.4ポイント増加。
- 研究経費は、臨床研究に係る損害賠償保険料や研究機器のリース料の増加等により、2千9百万円の増加。
- 診療経費は、診療実績の大幅な伸びに伴い、医薬材料費が3億7千万円増加するとともに、目的積立金の取り崩しによる局所麻酔手術センター整備費や診療機器整備費など、9千6百万円増加。また、平成23年11月にフルオープンした外来診療棟に係る医事委託費、清掃委託費等の経費が1億6千7百万円増加する一方、外来診療棟等関連整備費や移転経費等が3億1千万円が減少し、診療経費全体では、3億4百万円、対前年度比2.3ポイント増加。

(単位:百万円)

経常費用	24年度	23年度	増減
教育経費	293	249	44
研究経費	1,095	1,066	29
教育研究支援経費	179	150	29
診療経費	13,419	13,114	305
人件費	15,363	14,840	523
受託研究・事業費	668	585	83
一般管理費等	496	487	9
経常費用計	31,515	30,495	1,019

経常収益	24年度	23年度	増減
運営費交付金収益	4,297	4,679	▲ 382
学生納付金収益	747	752	▲ 5
附属病院収益	22,955	22,030	925
受託研究等収益	944	758	186
寄附金・補助金収益	1,513	1,335	178
その他収益	1,060	1,129	▲ 69
経常収益計	31,519	30,685	834

注) 京都府公立大学法人運営費交付金 6,297百万円
(上記収益化額+償還負担金等)

経常損益	3	190	▲ 187
------	---	-----	-------

臨時損失	7	1	6
------	---	---	---

当期純利益	3	197	▲ 194
-------	---	-----	-------

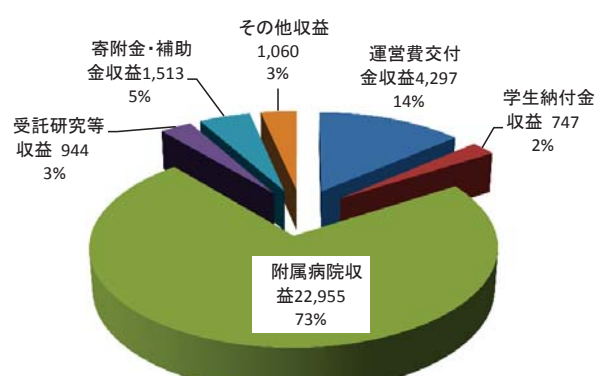
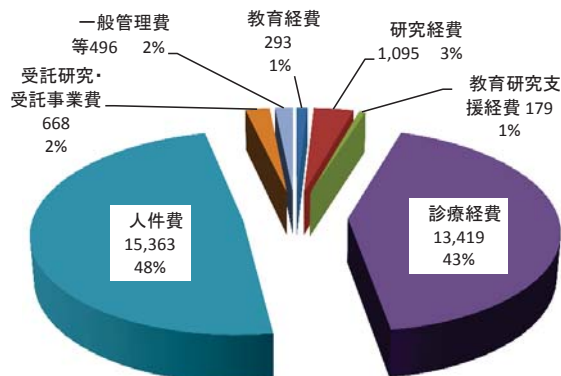
当期総利益	107	216	▲ 109
-------	-----	-----	-------

臨時利益	7	7	0
------	---	---	---

目的積立金取崩額	103	19	84
----------	-----	----	----

注) 各金額は単位未満を切り捨てしているため、計は一致しない。

【経常費用・経常収益の構成比】



京都府立医科大学の財務状況の特色

◆ 事業費総額等

- ・ 京都府立医科大学及び附属病院の事業費は、平成20年度の法人化以降、285億円前後で推移していたが、平成23年11月にフルオープンした外来診療棟の関連経費の増加及び附属病院の経営改善努力による大幅な病院収入の増加に伴い、平成23年度に、初めて300億円を超えたところである。
- ・ 平成24年度の事業費は、経営努力による附属病院収入の増加や外部資金の積極的な確保により、対前年度15億円増の315億円となり、対前年度比2.7ポイントの伸びとなっている。
- ・ 事業費のうち、人件費が約5割、診療経費が約4割で、本学の事業費の大半を占めている。
- ・ 運営費交付金は、年々減少しているものの、外部資金や附属病院収入等の増加により、事業費を確保し、平成20年度からの5年間の経常損益は黒字となっている。

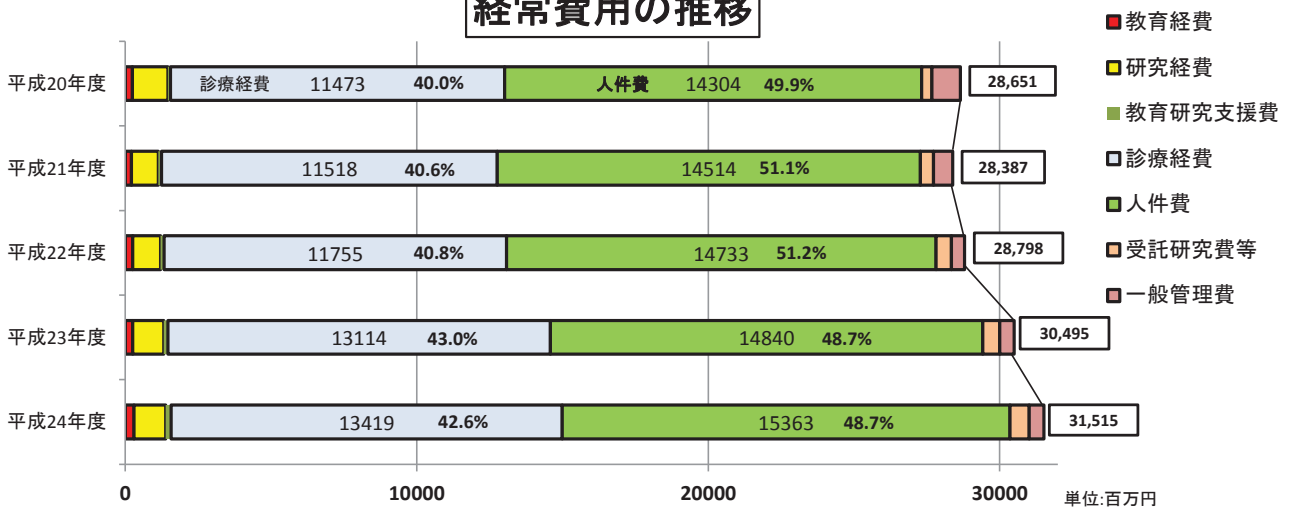
◆ 人件費

- ・ 平成24年度の人件費は、退職手当や附属病院の診療に従事する専攻医、大学院生等の診療謝金・手当の増加等による非常勤職員人件費の増加に伴い、対前年度5億2千3百万円増加しているが、事業費に占める人件費の割合は前年度と同じ48.7%となっている。

◆ 附属病院収益

- ・ 附属病院収益は、平成23年度に経営コンサルタントによる病院収入、経費の分析等を行い、経営改善に一層取り組んだ結果、平成23年度は、対前年度14億7千7百万円増加、平成24年度も対前年度9億2千5百万円増加するなど、大幅な増収となっている。

経常費用の推移



経常収益の推移

